

## 有隣印刷株式會社の罷業に關し 我々兄弟諸君に訴ふ

我關東印刷勞働組合小石川支部に屬する有隣印刷株式會社の全従業員四十數名は、去る五月十三日突然何等の豫告もなく、又何等の解雇手當も支給されずして、解雇を申渡された。其上、當然支拂ふべき我々従業員の給料すらも支拂つてゐないのである。此の如く、當然支拂ふべき給料も支拂はず、工場を閉鎖しなければならなくなつた理由の真相は、全く重役の間に、姦奪飽くことなき者があつて、そのため重役同志の反目を生じ、事業不振に陥つた結果から來たものであつて、他に何等の理由も見出すことが出來ない。我々が解雇を申渡された當日迄は、夜業をしなければならぬ程、忙しかつたのである。

重役連中の陰謀と、反目との犠牲として、我々従業員のパンを奪ふが如きは、我々の闘争として牙露すに甘んじずして、上りの口を黄泉よる身止り兆哉に憑じて、我々は正義のため敢然起つて、こゝに官戦を布告した。事ここに至つた以上、我々は我等の組合旗の下に彼等をして屈服せしむるか、或は、四十幾名の従業員は、枕を並べて、餓死するかの最後まで戦ふ堅い決心の下に結束しつゝ有る。

然しながら、我々に取つて、會社の取つた態度は餘りに突然であり、給料すら拂はれてゐない有様である。従業員は今や、貧窮のドン底に押し込められてゐる。決意鐵の如く固しと雖も、資金がなくては充分な戦ひを續けることは出來ない。此に、有隣印刷株式會社の横暴なる態度と、我々の窮狀とを訴へて、兄弟諸君の精神的に又は物質的に應分の援助あらんことを乞ふ。

大正十四年五月十八日

關東印刷勞働組合小石川支部

### 有隣印刷株式會社爭議團